

# 各特別委員会報告

## 有害鳥獣対策等調査特別委員会

### 第15回委員会(7月14日)

今後の委員会活動についての協議を行った。秩父市のみで有害鳥獣対策に取り組むのでは限界があり、広域または県等に要望を行い、有害鳥獣対策につき意見交換を行うこと。内容について、秩父市においては有害鳥獣被害の実績が把握されており、秩父地域1市4町が被害の実態を持ち寄り、確認しあい、今後広域的な連携と対策をとる必要があるとの意見が出た。

### 第16回委員会(8月25日)

秩父農林振興センターの主催による秩父地域鳥獣対策に係る情報交換会に各委員が参加したときの意見をまとめた。

講演の中で秩父には、シカ、サルやハクビシンなどによる大きな被害を受けており、個体数を減らすことが大きな当面の目標であるが、県の補助を受けて広域でサルの行動を調べるのも、我々の責任でもある。

動物に餌付けをしているつもりはないが、自然の中で味を覚えてきたこともあり、人家に近づくことから行動パターンを調べることで、追い払いが絶対に

必要である。

サル等を見たら、みんなで追い払いをする事が大事である。

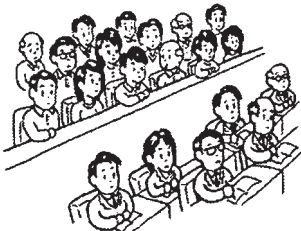
今後は、農林振興センターが中心となり、協議会を立ち上げ、行政が連絡を取り合う組織体制を作ることで、長期間の鳥獣対策を取ることができるようにして頂きたい。また、有害鳥獣対策のパンフレットの配布を行い、基本的な知識を多くの住民が持つことが重要であるとの意見が出た。

本委員会は、今後も調査研究の必要を認め、閉会中の継続審査に付すべきものと決定した。



捕獲されたアライグマ

## 市議会を傍聴してみませんか



市議会は、毎年3月、6月、9月、12月の4回の定例会と必要に応じ臨時会が開催され、市民の皆さんに直結した議案・請願等を審議します。

市民の皆さんが選んだ代表がどんな活躍をしているか、市議会を傍聴してみませんか。

※次の定例会は**12月1日**開催予定です。

●訂正とお詫び●  
市議会だより13号(8月発行)の13ページ下段に掲載してある写真の表題が、「問診風景」とありますが、正しくは「問診風景」です。また、15ページ下段に掲載してある写真の表題が、「地域振興公社が運営している道の駅ちちぶ」とありますが、正しくは「秩父観光機構が運営している道の駅ちちぶ」です。訂正しお詫びいたします。

## 編集後記

皆さんは「つくばねの実」をご存知ですか。はねつきの時の羽根のような形をしています。

9月下旬、この実の天ぷらをご馳走になり、目で楽しみ、食べましたが、おいしいものでした。

その後、以前つくばねの実を採った場所に行きましたが、山が荒れていて木は見つかりましたが実を見つける事は出来ませんでした。

9月定例会では、ふるさと納税等に対応する条例制定や吉田歴史民俗資料館の廃止、高篠小改築工事契約等を採決し、平成19年度の決算については特別委員会で審議となりましたが、残念な事にここ何回か常任委員会の態度と本議会の態度を変える議員がいましたが、このような事は議会の信頼が荒廃する要因となるので気を付けたいです。

坂本文雄 記

## 編集委員

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 斎藤 栄   |
| 副委員長 | 坂本 文雄  |
| 委員   | 新井 重一郎 |
| 委員   | 新井 重一郎 |
| 委員   | 富田 恵   |
| 委員   | 荒船 功子  |